

第29号

平成25年11月15日発行
編集局 JA山口中央会



集落営農法人だより

JAグループ山口と山口県集落営農法人連携協議会との意見交換会 開催

10月31日、山口市のセントコア山口で、JAグループ山口との意見交換会を開催しました。本協議会の山本勉生会長をはじめとする役員10名と、JA山口中央会の山本伸雄会長、中村滋専務理事、JA山口信連の安田謙吾代表理事専務、JA山口厚生連の花本敏夫代表理事専務、JA全農やまぐちの夏井敏副本部長、JA共済連山口の末広和夫副本部長など約40名が出席しました。

昨今の農業情勢は厳しいものがありますが、個々の法人はもちろん、県協議会として新しいことに取り組む姿勢を持ち、多様な活動を行っています。今日は、要望事項をもとに、将来の取り組みに向けて、有意義な意見交換を行いたいと考えております。



協議会 山本会長



中央会 山本会長

TPPをはじめ、日本型直接支払制度の創設、経営所得安定対策の見直し、米の生産調整のあり方の検討など農業を取り巻く情勢は大きく動いています。そのような中、集落営農法人は、営農・くらし双方で多様な役割を担っており、今後益々の活躍を期待しています。

本協議会は、目的・体制・会員数等の協議会の概要と併せて、地域法人協議会と連携して開催する検討部会、「人材確保・育成」等をテーマとした課題別研修会・検討会、今年度設立した若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」など今年度の活動について説明をしました。



協議会の活動状況を説明

その後、以下の重点要望事項をJAグループに提示しました。

- ① 多様な人材の確保・育成
- ② 経営安定に向けた複合化・多角化
- ③ 新たなマッチング体制の構築による法人間連携の促進
- ④ 本協議会への活動支援



重点要望事項を受けて、JA山口中央会の中村滋専務理事は以下のように回答しました。



中央会 中村専務理事

JAグループ山口は、「出向く体制強化」と「最適な事業提案の個別対応力の発揮」により、県下集落営農法人における「人」「物」「金」「情報」等の経営資源の確保・最適化に向けて、グループ丸となった総合的な支援に努めていく所存でございます。

併せて、連合会・全国連県本部より、以下のような事業提案がありました。

- JA山口信連…設備・運転資金融資、利子助成、新規就農応援事業、など
- JA山口厚生連…健康診断（施設・巡回）、保健指導、情報提供、など
- JA全農やまぐち…需要に対応した生産誘導、総合情報サービス、など
- JA共済連山口…法人用傷害保険「Kサポート」の個別提案、など



信連
安田代表理事専務



厚生連
花本代表理事専務



全農
夏井副本部長



共済連
末広県本部長

その後、以下の内容について意見交換を行いました。

- ・ 農政全般に関するJAグループの対応の強化
- ・ 「せときらら」に係るJA全農やまぐちの対応
- ・ 「山口10号」が奨励品種になった場合の販売戦略
- ・ 各法人に対する個別支援・対応の強化
- ・ 新規法人就業者に関する支援の強化
- ・ JA出資型法人の設立 …など



意見交換の様子



意見交換後の記念写真

課題別研修会・検討会「人材確保・育成」 開催

11月7日、山口市のJA山口中央本所で、課題別研修会・検討会「人材確保・育成」を開催しました。現状・課題の共有化、解決策の検討などを趣旨とし、会員法人33名、県立農業大学校生・やまぐち就農支援塾生61名、関係機関40名の計134名が参加しました。

はじめに、本協議会事務局より「山口県立農業大学校における事前授業の概要とアンケートの結果」、県農林総合技術センター行村浩昭主幹より「農大の紹介と学生・研修生の概要」と題し、話題提供を行いました。

その後、山本公平中小企業診断士より、「集落営農法人における雇用の現状と課題」と題し、講演をいただきました。

事例報告では、(農)つかりの森重定昌理事、(有)鹿野アグリ of 倉益勲取締役、(農)榎野の栗山新治理事より、各法人における若手従業員の確保・育成の方法について報告を行いました。



(農)榎野 栗山理事

検討・協議では、山本中小企業診断士がコーディネータ(進行役)を務め、(農)つかりの森重理事、(有)鹿野アグリ of 倉益取締役、県の行村主幹らがステージに上がり、会場全体で「多様な人材の確保・育成方法」について意見交換を行いました。



会場の様子



検討・協議の様子

また、研修会・検討会前の10月25日には、県立農業大学校で、集落営農法人に関する講義及び若手法人就業者と県立農業大学校生・やまぐち就農支援塾生との意見交換会を開催し、集落営農法人について理解を深めてもらいました。



事前授業・意見交換の様子

安全・労務・健康・リスク管理研修会 開催

8月7日、長門市の長門総合病院で安全・労務・健康・リスク管理に係る研修会を開催しました。同研修会は、8月28日（柳井市周東総合病院にて）、8月29日（山口市小郡第一総合病院にて）にも同じ内容で開催しています。

研修の一環として、研修開始前に健康診断（問診・採決・血圧・身長・体重）等も実施しました。

研修会の内容は、次ページのとおりです。



研修会の様子

- 農作業安全確認運動および経営リスクの回避について
 - … 本協議会事務局が説明。
- 組合員・従業員等の健康管理について
 - … J A山口厚生連 吉田智子保健師、吉村千津子保健師が説明。
- 農業機械に係る安全点検活動について
 - … J A全農やまぐち 金子弘司副審査役、本協議会事務局が説明。



研修会の様子

検討部会「JGAPについて」 開催

8月9日、柳井市のJ A南すおう本所ホールで、検討部会「JGAPについて」を開催しました。（南すおう地域農業振興協議会と共催）

研修の内容は、以下のとおりです。

- GAPとは一体何か？
 - … 本協議会事務局が説明。
- JGAPで変わる法人運営
 - … (農)ファーム上ゲ 角屋正治副組合長が事例報告。
- ケーススタディ「JGAPの管理点と適合基準を満たすには？」
 - … (農)ファーム上ゲ 角屋正治副組合長、本協議会事務局が進行。
農場運営と農薬使用に係る管理点と適合基準について、現状と解決策を会場全体で協議した。



研修会の様子

ソリマチ農業簿記を活用した会計処理・部門管理研修会 開催

8月26日、山口市のカリエンテ山口でソリマチ農業簿記を活用した会計処理・部門管理研修会を開催しました。同研修会は、会員法人からの要望が多かったため、6月11日（山口市サンフレッシュ山口にて）、6月12日（柳井市文化福社会館にて）に引き続き、開催したものです。

当日は、農業簿記の概要、初期データの作成、仕訳の入力について、ソリマチ株式会社農業情報営業部の岩下桂氏より説明がありました。



研修会の様子

若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」の活動紹介

7月に発足した若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」は、若手法人就業者の連携の強化、資質の向上を目的に多様な活動を展開しております。

① 10月19日～20日、平成25年度きらら物産フェアに出展し、県産食材を使用したお好み焼きを販売しました。事務局含め2日間延べ12名が参加し、799食のお好み焼きを売り上げました。

② 11月3日、第31回農大祭にも出展し、きらら物産フェア同様お好み焼きを販売しました。5名の若手法人就業者が参加しました。

③ 10月31日、JAグループ山口と山口県集落営農法人連携協議会との意見交換会に代表 [(農)ファームつるの里 仁多新太郎氏]、副代表 [(有)名田島農産 川本匡平氏] が参加し、若手法人就業者の代表として、JAグループ山口に対し意見を述べました。

④ 10月25日、県立農業大学校で、県立農業大学校生・やまぐち就農支援塾生との意見交換を実施し、集落営農法人について理解を深めてもらいました。(再掲)



親睦を深める参加者



意見する仁多代表

【お 願 い】

若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」は、40歳未満（原則）の若手で構成するサークルです。サークルの活動に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、是非本協議会事務局（JA山口中央会・中村 [TEL:083-902-7503](tel:083-902-7503)）までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします！！

[日本農業新聞に掲載された関連記事]

